

令和6年度版

千曲市公共施設個別施設計画

博物館等編①

(森將軍塚古墳館・さらしなの里歴史資料館)



令和6年3月
長野県千曲市

— 目 次 —

1. 計画策定の背景、目的と位置付け	
(1) 計画策定の背景と目的	1
(2) 計画の位置付け	1
2. 計画対象施設、計画期間	
(1) 対象施設	2
(2) 計画期間	2
3. 計画対象施設を取り巻く現状と課題	3
4. 対策の優先順位の考え方と施設評価	3
5. 個別施設の状態等（基礎調査）	
(1) 劣化度・老朽化度調査	4
6. 対策内容と実施時期（実施計画）	
(1) 再配置に関する基本方針	4
(2) 工程表	5
(3) 対策費用	5
7. 今後の対応方針と本計画の実現に向けて	
(1) フォローアップ及び実施体制	6
(2) 改訂に関する考え方	6

1. 計画策定の背景、目的と位置付け

(1) 計画策定の背景と目的

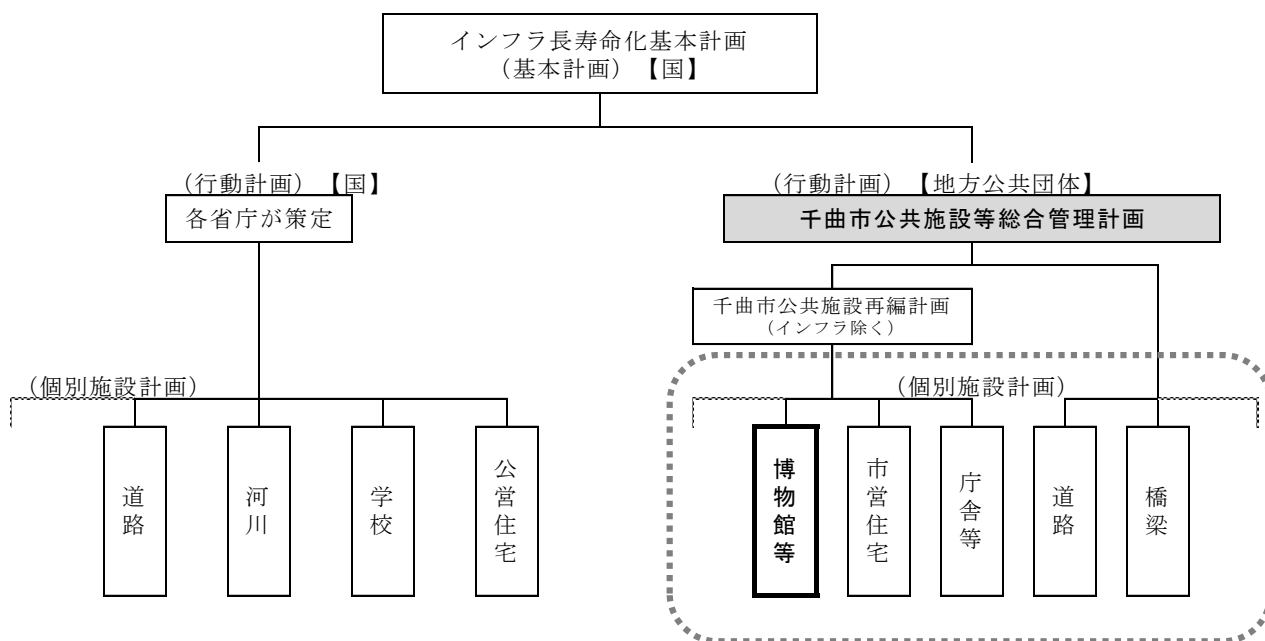
公共施設等の長寿命化対策については、平成 25 年 11 月に国において「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、平成 26 年 4 月に地方公共団体においても公共施設等総合管理計画を策定するよう求められました。

本市においても、公共施設等の総合的かつ計画的な施設の維持管理を進めるうえでの基本的な方針として「千曲市公共施設等総合管理計画」を平成 28 年 3 月に策定しました。

「千曲市公共施設個別施設計画 博物館等編①」は、「千曲市公共施設等総合管理計画」の基本方針に基づき、個別施設ごとの維持管理・更新等の対策の内容や実施時期などをまとめた計画として策定するものです。

(2) 計画の位置付け

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」を踏まえ、本市における公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針として策定した「千曲市公共施設等総合管理計画」を最上位計画とし、総合管理計画と本計画とを橋渡しする「千曲市公共施設再編計画」を上位計画とします。



2. 計画対象施設、計画期間

(1) 対象施設

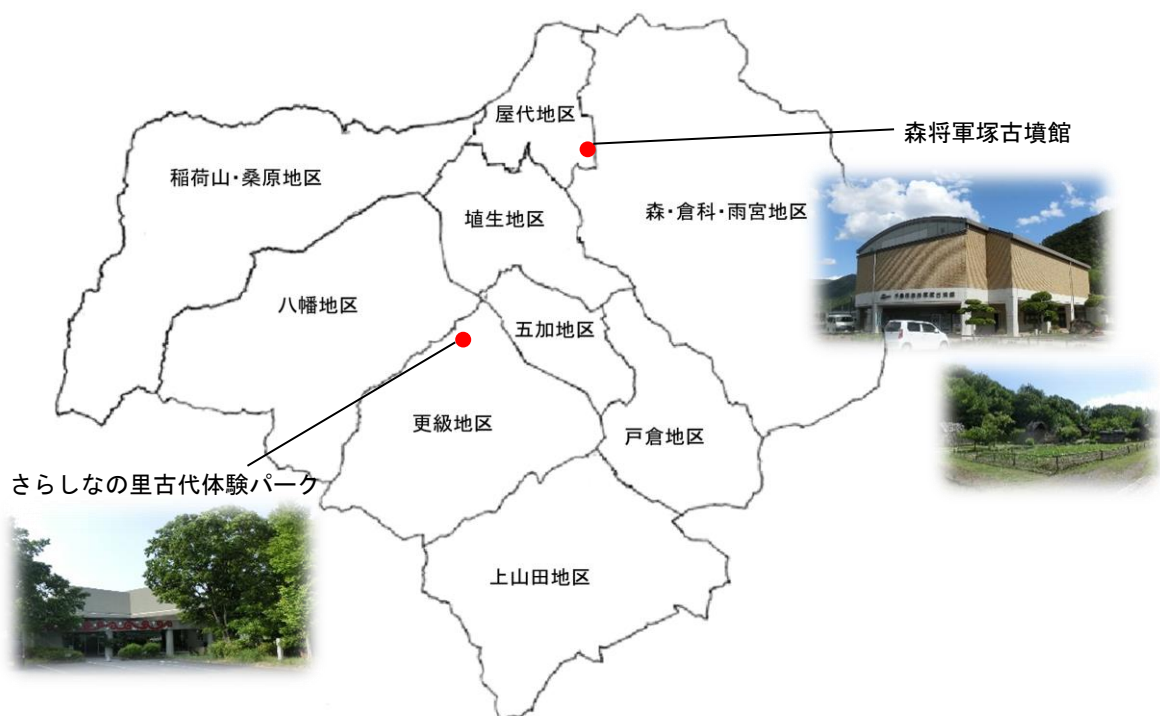
本計画は、本市が所有する公共施設のうち、以下の博物館等を対象とします。

No.	施設名	建築年月	経過年数	耐用年数	主構造	延床面積 (㎡)	備考	
1	森將軍塚古墳館	古墳館	H8(1996).9	27年	38年	S	1,230.76	
		トイレ	H2(1990).1	34年	31年	S	32.71	
		竪穴住居 A・B	H5(1993).5	30年	22年	W	98.00	
		竪穴住居 C	H12(2000).5	23年	22年	W	49.00	
		小竪穴住居 A・B	H5(1993).5	30年	22年	W	30.00	
		高床住居	H5(1993).5	30年	22年	W	15.00	
		平地式住居	H5(1993).5	30年	22年	W	23.00	
2	さらしなの里歴史資料館	資料館	H4(1992).9	31年	50年	R C	699.00	
		トイレ	H3(1991).3	33年	31年	S	34.00	
		あずまや	R3(2021).3	3年	22年	W	9.90	R4: 建築年修正
		竪穴住居 イ～ハ・ホ・ヘ	H3(1991).3	33年	22年	W	197.00	
		竪穴住居二	R6(2024).3	0年	22年	W		R6: 建築年修正
		高床住居	H3(1991).3	33年	22年	W	40.00	

※経過年数…令和6年4月1日現在

※耐用年数…「資産評価及び固定資産台帳整備の手引き(平成26年9月30日 総務省事務連絡)別紙3」及び「減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年大蔵省令第15号)」により設定

※主たる構造…R C: 鉄筋コンクリート造、S: 鉄骨造、W: 木造



(2) 計画期間

本計画の期間は、令和3(2021)年4月から令和13(2031)年3月までの10年間とします。

3. 計画対象施設を取り巻く現状と課題

【森将軍塚古墳館】

森将軍塚古墳の管理及び出土品等の展示並びに公園見学者のガイダンス施設として平成9年に開館しました。

年間約2万人の来館者があり、内約70%は、小学校の教育活動に使われております。

科野の里歴史公園内のムラには、古代家屋が7基あり、主なものは、平成6年に建築されました。

開館以来大規模な改修は行われておらず、古墳館・古代家屋共に劣化が進んでいるため、計画的に修繕が必要です。

【さらしなの里歴史資料館】

平成4年に完成し、市民への参加体験や訪れた方の体験講座などを行っております。

開館以来資料館の大規模な改修が行われておらず、雨漏り等がいたるところで発生しております。

平成3年に設置された古代体験パークには、復元住居6棟と倉庫1棟があり、いずれも劣化が顕著であることから、計画的な修繕が必要です。

○各施設の利用状況

森将軍塚古墳館の入館者は、年間平均約2万人です。主に、春から夏にかけて、小学校などの入館者がピークを迎えます。

さらしなの里歴史資料館は、平均約6,000人の入館者があります。

施設名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
森将軍塚古墳館	22,723人	21,315人	21,492人	20,888人	19,670人
さらしなの里歴史資料館	6,162人	6,417人	3,964人	8,054人	5,226人

4. 対策の優先順位の考え方と施設評価

利用者の安全面を最優先に考え、建物の経過年数、利用状況等から建物の劣化状況を調査するとともに定期点検を実施し、不具合や危険箇所の早期発見に努め、適切な維持管理を実施していきます。

5. 個別施設の状態等（基礎調査）

（1）劣化度・老朽化度調査

施設状況の的確な把握、改修等の時期を検討するため、目視による劣化状況調査を実施し、各施設の劣化状態を評価しました。

No.	施設名	建物名	所見・特記事項等	劣化度
1	森將軍塚古墳館	古墳館	壁紙が剥げており展示機器共に耐用年数を超えたものが多い。	C
		トイレ	目地もだいぶ黒ずんでおりまた排水ポンプも壊れたままとっている。	C
		竪穴住居 A・B	屋根の劣化が激しい。	C
		竪穴住居 C	現在使用不能状態となっている。	C
		小竪穴住居 A・B	昨年小竪穴住居 A の屋根を修繕したが以前屋根の修復が多い。B も同様。	B
		高床住居	一昨年基礎を工事したが屋根部分の劣化が激しい。	C
		平地式住居	屋根の劣化が激しい。	B
2	さらしなの里歴史資料館	資料館	雨漏りしている。機械設備の劣化が著しい。	C
		トイレ	老朽化が著しい。	C
		あずまや	新築を行い、現状維持をしていく。	A
		竪穴住居イ～ハ・ホ・ヘ	屋根及び骨組みの劣化が著しい。	C
		竪穴住居二	改修を行い、現状を維持していく。	A
		高床住居	屋根の劣化が著しい。	C

※劣化度＝良好 A → 劣化 C

6. 対策内容と実施時期（実施計画）

（1）再配置に関する基本方針

公共施設再編計画で示したとおり、博物館施設は文化的価値も有しており、貴重な施設であるため、利用状況を踏まえて、目標使用年数まで施設を適正に維持できるよう、大規模改修及び長寿命化を計画的にはかってまいります。

(2) 工程表

施設名	建物名	建築年度 経過 年数	耐用 年数 目標使 用年数	計画期間(年度) 上段: 対策内容 下段: 対策費用 (単位: 千円)										対策費 用合計	対策により期 待される効果		
				R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030				
森將軍塚古墳館	古墳館	H8	38	改修		改修				劣化度 調査	実施設計	改修				目標使用年数ま での機能維持	
		27	60	4,130		1,452				2,000	3,300	100,000			110,882		
	トイレ	H元	31														目標使用年数ま での機能維持
		34	60												0		
	竪穴住居 A・B	H5	22			実施設計				改修		改修				目標使用年数ま での機能維持	
		30	40			1,089				22,760		22,760			46,609		
	竪穴住居 C	H12	22			実施設計										目標使用年数ま での機能維持	
		23	40			同上									0		
小竪穴住 居A・B	H5	22			実施設計								改修		目標使用年数ま での機能維持		
	30	40			同上								20,120	20,120			
高床住居	H5	22		修繕											目標使用年数ま での機能維持		
	30	40		3,498										3,498			
平地式住 居	H5	22	改修		実施設計	改修									目標使用年数ま での機能維持		
	30	40	3,003		同上	補正対応								3,003			
さらしなの 里歴史資料館	資料館	H4	50		改修	改修									目標使用年数ま での機能維持		
		31	80		6,270	6,820								13,090			
	トイレ	H2	31													目標使用年数ま での機能維持	
		33	60											0			
	あずまや	R2	22													目標使用年数ま での機能維持	
		3	40											0			
	竪穴住居 イ	H2	22							改修・実 施設計					目標使用年数ま での機能維持		
		33	40							13,200				13,200			
	竪穴住居 ロ	H2	22												目標使用年数ま での機能維持		
		33	40											0			
	竪穴住居 ハ	H2	22												目標使用年数ま での機能維持		
		33	40											0			
	竪穴住居 ニ	H2	22			改修・ 実施設 計									目標使用年数ま での機能維持		
		33	40			12,012								12,012			
竪穴住居 ホ	H2	22												目標使用年数ま での機能維持			
	33	40											0				
竪穴住居 ヘ	H2	22									改修・ 実施設 計			目標使用年数ま での機能維持			
	33	40									13,200		13,200				
高床住居	H2	22		実施 設計				改修・ 実施設 計						目標使用年数ま での機能維持			
	33	40		493				22,500					22,993				
対策費用合計				7,133	10,261	21,373	0	22,500	24,760	16,500	122,760	13,200	20,120	258,607			

※令和3年度(2021年度)から令和4年度(2022年度)は決算額、令和5年度(2023年度)は決算見込額、令和6年度(2024年度)は予算額、令和7年度(2025年度)以降は計画(概算)額

(3) 対策費用 (R3~R4:決算額、R5:決算見込額、R6:当初予算額、R7以降:概算額)

【森將軍塚古墳館】

R3(2021)年度: 7,133千円 古墳館照明LED化工事等(4,130千円) / 平地式住居茅葺屋根修繕(3,003千円)

R4(2022)年度: 3,498千円 高床住居茅葺屋根修繕(3,498千円)

R5(2023)年度: 2,541千円 古墳館展示室映像装置修繕(1,452千円) / 科野の里歴史公園屋外展示物(復元住居)撤去・設置工事 実施設計(1,089千円)

R6(2024)年度: 補正対応 平地式住居改修工事/平地式住居改修工事監理

R8(2026)年度: 24,760千円 古墳館劣化度調査委託(2,000千円) / 竪穴住居A改修工事(21,560千円) / 竪穴住居A改修工事監理(1,200千円)

- R9(2027)年度：3,300千円 古墳館改修工事実施設計(3,000千円) /
アスベスト調査委託料(300千円)
- R10(2028)年度：122,760千円 古墳館改修工事(95,000千円) /
古墳館改修工事監理(5,000千円) /
竪穴住居B改修工事(21,560千円) /
竪穴住居B改修工事監理(1,200千円)
- R12(2030)年度：20,120千円 小竪穴住居A・B改修工事(18,920千円) /
小竪穴住居A・B改修工事管理(1,200千円)

【さらしなの里歴史資料館】

- R4(2022)年度：6,773千円 メディアルーム・荷解室空調設備改修工事(6,270千円) /
復元住居修理実施設計(493千円)
- R5(2023)年度：18,832千円 竪穴住居二 躯体・茅葺屋根改修工事(11,297千円) /
展示室空調設備改修工事(6,820千円) /
復元住居二改修詳細設計(220千円) /
復元住居二改修工事監理(495千円)
- R7(2025)年度：22,500千円 高床住居 躯体・茅葺屋根改修工事(21,700千円) /
高床住居改修詳細設計(300千円) /
高床住居改修工事監理(500千円)
- R9(2027)年度：13,200千円 竪穴住居イ 躯体・茅葺屋根改修工事(12,400千円) /
竪穴住居イ改修詳細設計(300千円) /
竪穴住居イ改修工事監理(500千円)
- R11(2029)年度：13,200千円 竪穴住居ホ 躯体・茅葺屋根改修工事(12,400千円) /
竪穴住居ホ改修詳細設計(300千円) /
竪穴住居ホ改修工事監理(500千円)

7. 今後の対応方針と本計画の実現に向けて

(1) フォローアップ及び実施体制

本計画の進行管理は、所管課である歴史文化財センターが行います。

文化財センターは、各施設の劣化状況・入館者統計等を施設長の報告により状況等把握するとともに、施設の保全に関する本計画の進行を図っていきます。

毎年度の取組状況は、千曲市公共施設等総合管理計画推進本部において点検し、議会へ報告するとともにホームページ等で公表します。

(2) 改訂に関する考え方

各施設の劣化状況や今後の定期的な点検結果及び利用者の状況等に応じ見直しを行っていくほか、上位計画である「千曲市公共施設等総合管理計画」などとの整合性を図りつつ、国の動向及び社会情勢等の変化を把握しながら5年ごとに見直しを行います。更に工程表は、計画の実現性を高めるため、毎年度ローリングします。

千曲市公共施設個別施設計画 博物館等編①

令和3年3月策定（毎年度更新）

千曲市総務部財政課

〒387-8511 長野県千曲市杭瀬下二丁目1番地

TEL 026-273-1111(代) FAX 026-273-1004

E-mail : zaiseika@city.chikuma.lg.jp

（本計画を策定した課・施設所管課）

千曲市教育委員会 歴史文化財センター